

あした 個性あふれる未来のために

平成15年度 豊田市男女共同参画に関する意識調査(ダイジェスト版)



豊田市



クローバー【Clover】…マメ科：トリフォーリウム属の英名。ヨーロッパ原産。日本ではシロツメクサをさす。

◎四つ葉のクローバーは「希望」「愛情のしるし」「幸福」を表し、それを発見したものには幸運が訪れるという古くからの言い伝えがある。

『とよた男女共同参画プラン』では、人の生涯をクローバーにみたて、それぞれのライフステージを葉の1枚で表現することとし、広く親しんでいただけるよう、通称を「クローバープラン」と名づけました。

このクローバーのマークには、どのライフステージにおいても充実した生活を送ることができる「バランスのとれた社会」をめざすという意味合いも持たせています。また、葉を支える茎の部分は男女共同参画の意識を表しています。

誰もが性別に関わりなく 自らの生き方を選択できる社会でしょうか。

安心して子どもを生むことができる社会になっているでしょうか。



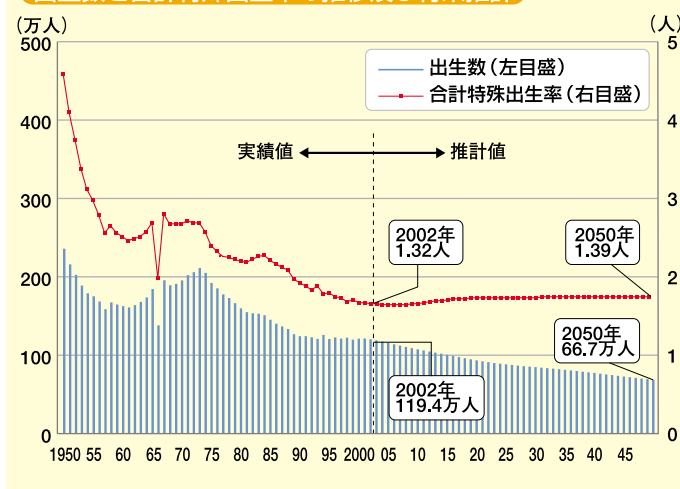
現在のわたしたちの国の人口を維持していくためには、女性が生涯に生む子どもの平均数（合計特殊出生率）は、2.07人を確保する必要があります。

ところが、2002年の合計特殊出生率は、1.32人（豊田市については1.54人。ただし2001年）まで低下しています。子どもの数の減少は、総人口を減少させ、逆に高齢者の人口割合を増加させることになります。

少子化・高齢化の進展と人口の減少は、地域社会の活力を低下させるだけでなく、労働力の不足による企業活動や経済活動の沈滞化など、国を維持するうえでも大きな問題となっていきます。

子どもが生まれない社会は、夫婦が安心して子どもを産み育てることができない社会なのかもしれません。

出生数と合計特殊出生率の推移及び将来推計



結婚や出産・育児中でも女性が働きやすい社会になっているでしょうか。

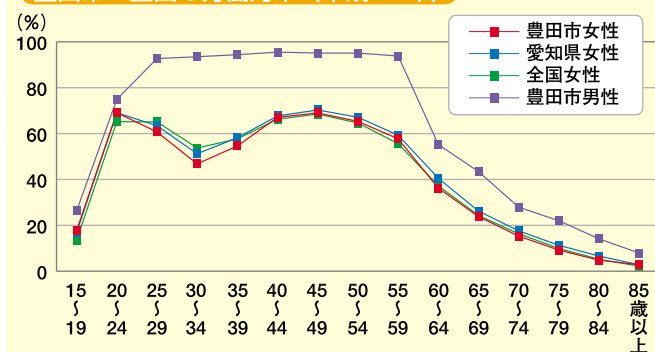


豊田市民のうち、働いている男女の割合を示すグラフをみてみましょう。男性は25歳頃から59歳くらいまで95%程度の人が働いています。これに対して女性はどうか。

24歳を境にして、30歳～34歳が大きく落ち込んでいます。

多くの女性が、結婚・出産・育児を経験しますが、この時期の女性が、結婚や出産を機に会社を辞めていることがよくわかります。

豊田市・全国の労働力率（平成14年）

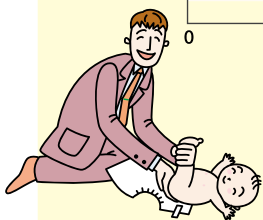
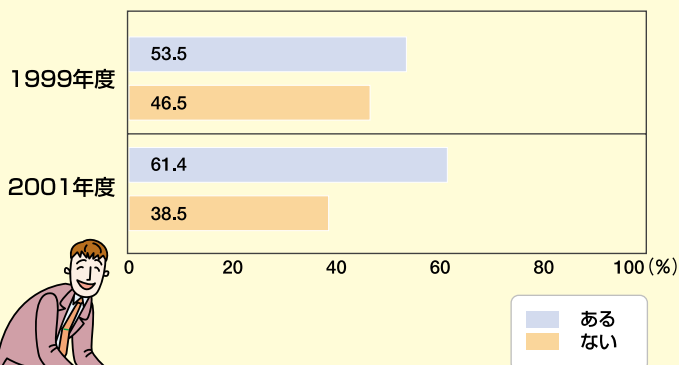


男性も育児参加の機会を活かしているでしょうか。

最近、育児休暇規定のある企業が増えてきました。また、子育てに参加する男性は増えてきています。しかし、実際に配偶者の出産や育児のために休暇をとる男性はまだ少なく、依然として

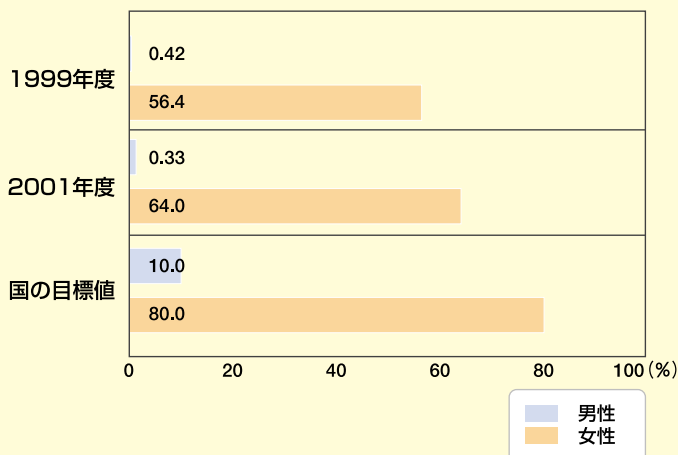
女性が全面的に担う状態にあるようです。男性も、父親として育児の喜びや責任を実感し、積極的に育児に参加できるような社会が望ましいのではないのでしょうか。

育児休暇規定



※資料出所：厚生労働省「女性雇用管理基本調査」

育児休業取得率



豊田市は男女平等が実現しているでしょうか。

平成10年「豊田市男女共同参画に関する意識調査」を実施いたしました。
この調査から5年を経過した平成15年調査結果から、市民の皆さんの男女共同参画の意識変化をみてみましょう。

5年間の中で、男性優越感は緩やかに緩和されています。

私たちが日常生活をおくっている家庭生活や職場、地域社会、学校について、男女の地位の平等が進んでいるかをみてみましょう。学校では男女平等が進んでいることがわかります。しかし、他の分野はいずれも「平等である」という人が大変少なく、多くの人が「男性の方が優遇されている」と感じていることがわかります。

また、政治や社会通念・慣習や風潮をみてください。「男性の方が優遇されている」と感じている人が多いことがわかります。

平成10年調査から5年を経過した現在、男女の平等感はどのように変化したでしょうか。2つのグラフを比較してください。わずかですが、「男性の方が優遇されている」の割合が低下しています。これは、5年間を経るなかで、少しずつですが、男性優遇社会から男女平等な社会に変化していることを示しています。

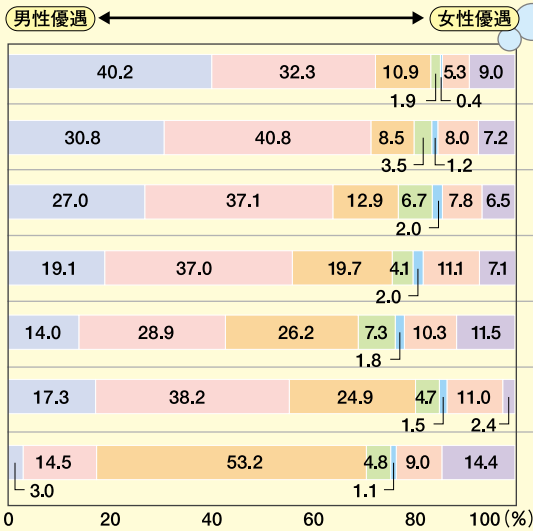
私たちが日常生活をおくっている家庭生活や職場、地域社会、学校について、男女の地位の平等は進んでいるかをみてみましょう。学校では男女平等が進んでいることがわかります。しかし、他の分野はいずれも「平等である」という人が大変少なく、多くの人が「男性の方が優遇されている」と感じていることがわかります。

また、政治や社会通念・慣習や風潮をみてください。「男性の方が優遇されている」と感じている人が多いことがわかります。

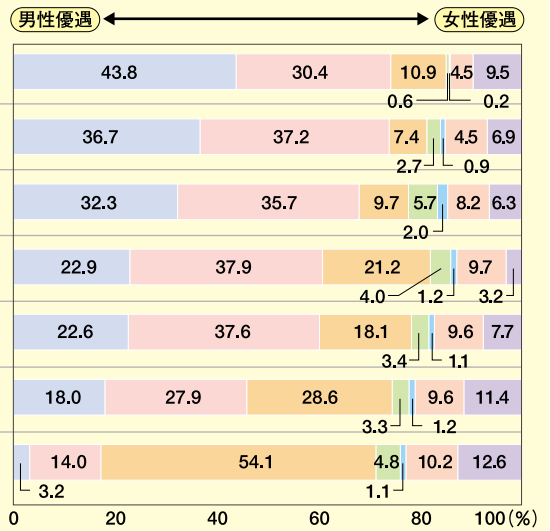


少しずつ、
男性優遇社会から
男女平等社会に
変化しています。

平成15年調査



平成10年調査



他の分野と比較すると、
学校教育の場では、
男女平等が進んでいます。

■ 男性の方が優遇されている ■ 男性の方がやや優遇されている ■ 平等である
■ 女性の方がやや優遇されている ■ 女性の方が優遇されている ■ どちらともいえない

男性優遇社会がゆるやかに男女平等社会に向けて変化してきていることがわかりました。
しかしまだ、男女平等社会を実現するためには、皆さんの努力が必要です。

「男は仕事・女は家庭」という固定的な役割に対する考え方は変化してきたでしょうか。

「男は仕事・女は家庭」は、個性や能力に関わりなく、性別によって個人の生き方を押しつけてしまう考え方です。このような考え方や意識を解消することが男女共同参画社会実現の第一歩です。

「男は仕事・女は家庭」という固定的な考え方は薄れてきました。

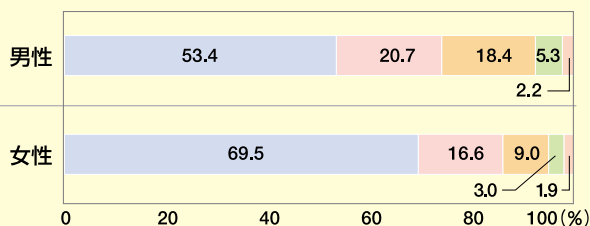
「男は仕事・女は家庭」という考え方は、個性とは関係なく、性別によって「男はこうあるべき」「女はこうしなければならない」という固定的な役割を男女に押しつけてしまう考え方です。

この考え方は5年間で大きく変化しました。

男女が性別によって、『仕事か家庭』に振り分けられることに対して、多くの皆さんが「反対」と考えています。

■『男は仕事・女は家庭』という考え方にすべき

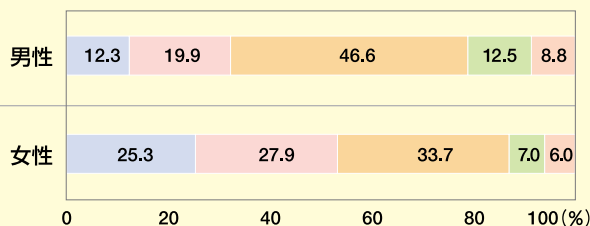
平成15年調査



■ そう思わない
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思う
■ わからない

■『男は仕事・女は家庭』という考え方に同感だ

平成10年調査



■ 反対
■ どちらかといえば同感
■ どちらかといえば反対
■ 同感
■ わからない

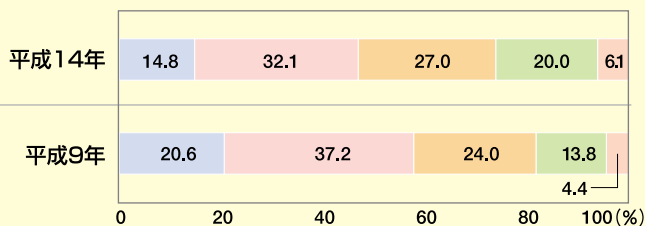
男女共同参画社会に対する理解は進んできています。

全国的に実施した調査結果をみてみましょう。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成とする人が約半数を占めており、男女の固定的な役割分業意識は根強く残っていることがわかります。

これに対して、豊田市の平成15年調査の結果では「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対する人が6割以上を占めています。今回の調査結果は、豊田市が目指す男女共同参画社会に一步近づいていることを示しています。

■『男は外で働き、妻は家庭を守るべきである』という考え方について

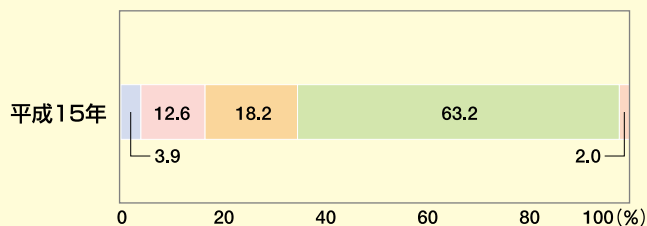
世論調査



■ 賛成
■ どちらかといえば賛成
■ どちらかといえば反対
■ 反対
■ わからない

■『男は仕事・女は家庭』という考え方にすべき

豊田市



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない
■ わからない



固定的な役割分業に対する市民の皆さんの考え方は男女共同参画社会に向かって進んでいるといえます。

家庭生活や子育てにジェンダーはどう影響しているのでしょうか

市民の皆さんの男女共同参画社会に対する理解が進んでいることがわかりました。では、実際の生活の中で、家事分担や子どもへの期待は性別によってどのような違いがあるのでしょうか。

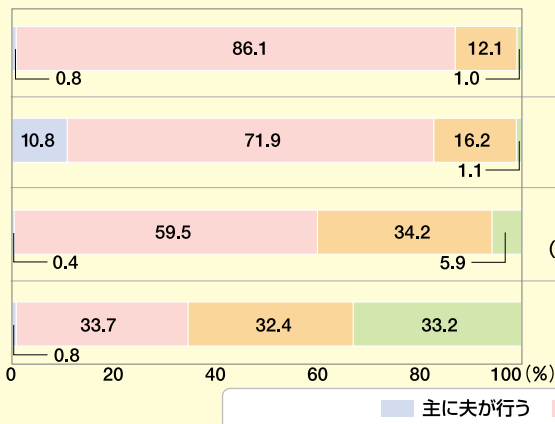
家庭の役割分担は共同化の方向にあります。

5年間の変化を見ると、家事や家庭管理、老親等の世話・介護は、少しずつですが共同化が進んできています。しかし、まだ、家庭の役割の多くは「主に妻」が行っているのが現状で

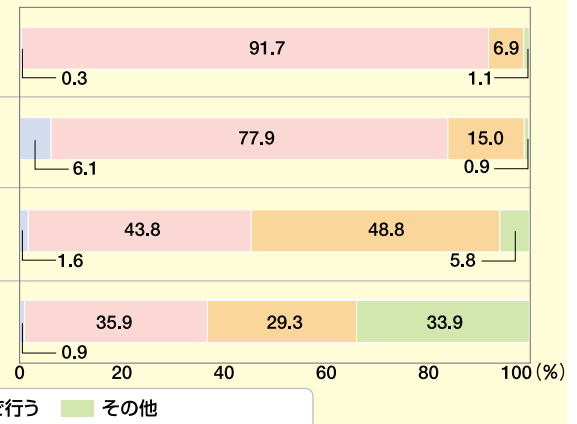
あり、家事や子育ては女性の役割という意識は根強く残っています。

■家庭での役割分担について

平成15年調査



平成10年調査



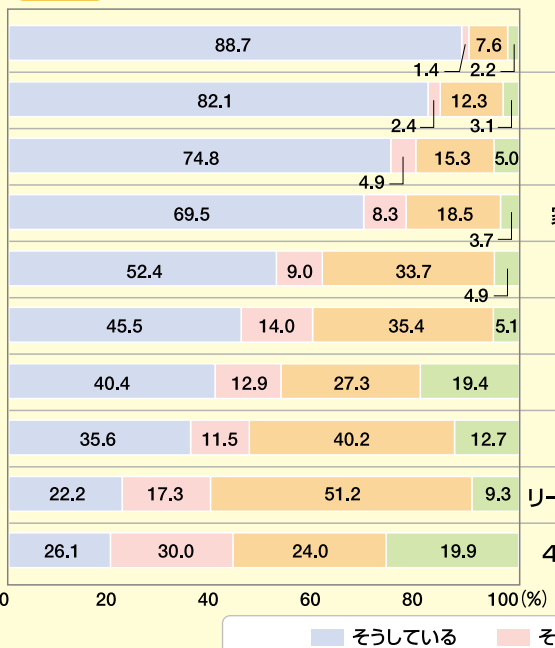
性別によって子どもへの期待が異なります。

女の子には「家事能力」、男の子には「たくましさ」が期待されており、性別によって子どもへの期待、育て方は異なってい

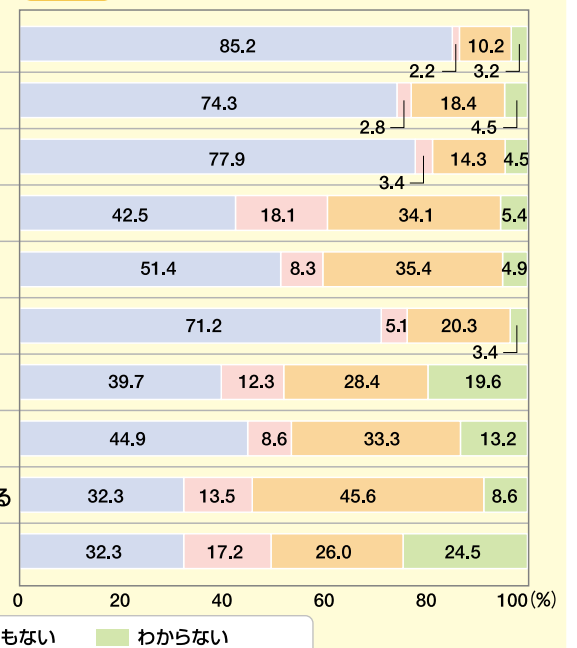
ます。家事能力も、たくましさも男女問わず生きるために必要な要素ではないでしょうか。

■子どもへの期待、育て方

女の子



男の子



家事は主に女性が担い、女の子には女の子らしさ、男の子は男の子らしさが期待されています。夫婦間で家事分担や子育てについてもう一度話し合うことが必要ではないでしょうか。

職場や地域活動の場での男女平等と共同は実現しているでしょうか。

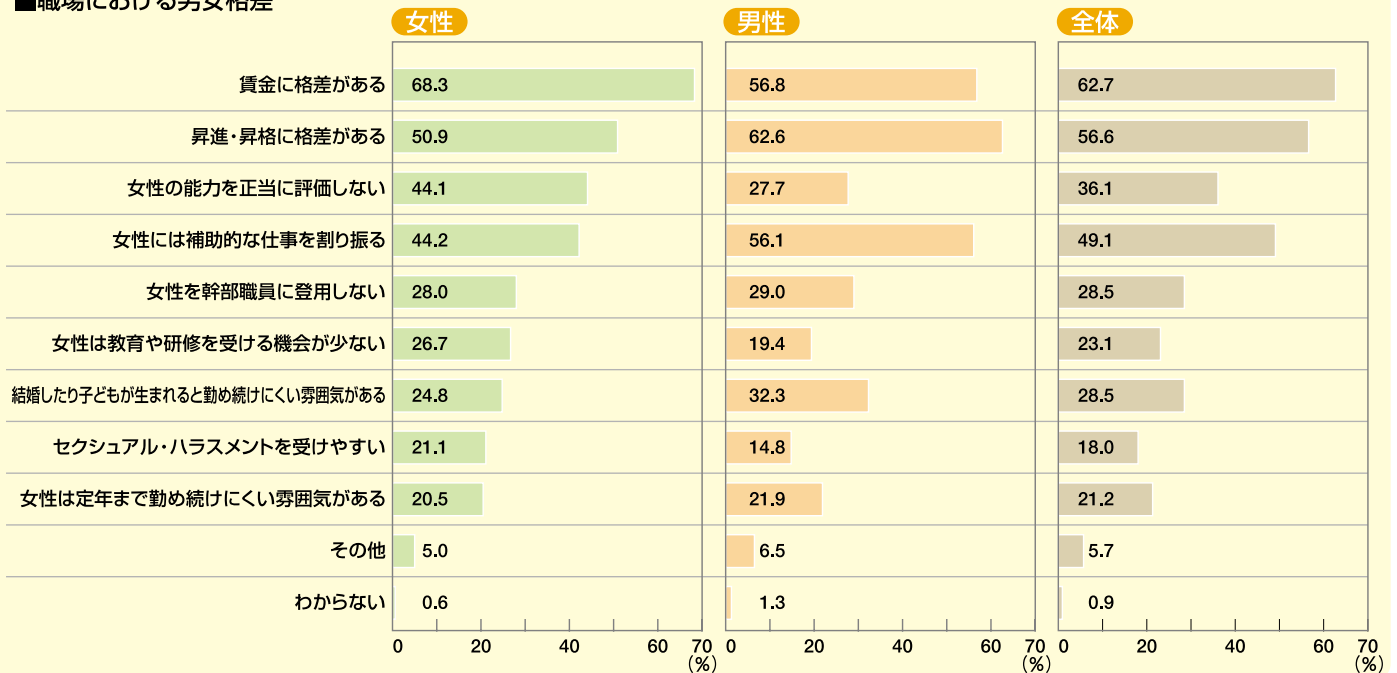
職場や地域活動の場における男女の不平等はあるのでしょうか。

職場における男女格差がまだ存在します。

この格差は、男性が主で女性はそれを補助する役割という意識が根本にあり、個人の能力とは関係なく性別によって業務

分担が行われ、その結果として男女の昇進・昇格や賃金格差を生んでいくことになっているのではないのでしょうか。

■職場における男女格差

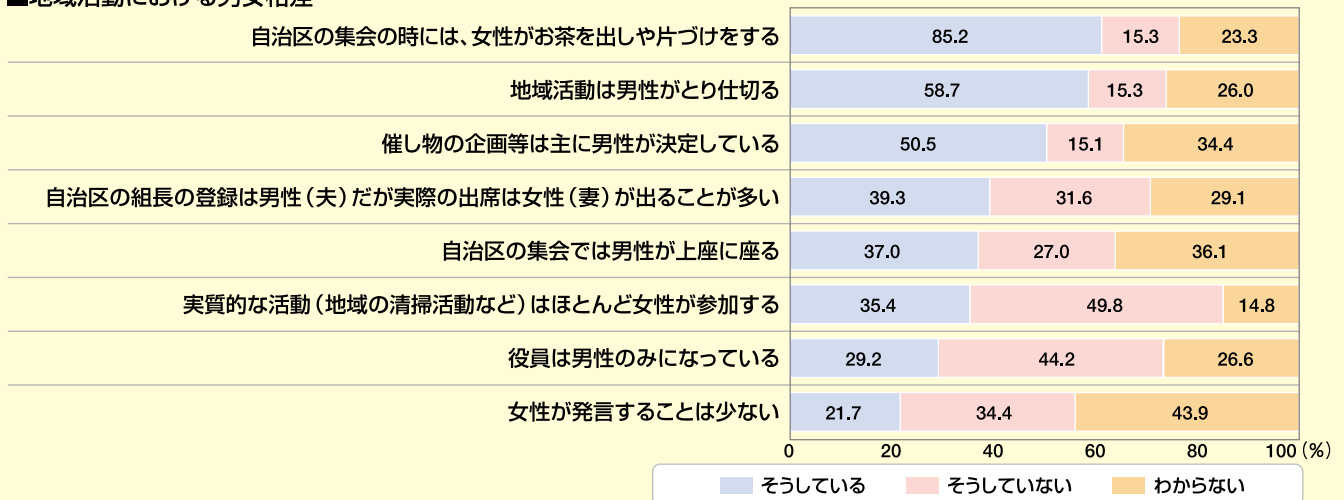


地域活動の場にも性別による役割分担がみられます。

調査結果をみると、女性はお茶だし、男性は企画や取り仕切り役という分担があることがわかります。このような分担が地域活動に参加する個人の能力や意思に関わらず、「男性だ

から、女性だから」という男女の性によって慣例的に決まっていますか？ 地域活動における役割の偏りを改善したいという声も見られます。（本編参照）

■地域活動における男女格差



法制度がどんなに整っても、わたしたちの心の中にある男性や女性に対する固定的な役割分業意識がある限り、男女それぞれの不平等は解消されていきません。

今後とも男女共同参画社会に向けて 様々な施策を展開していきます。

男女共同参画社会を実現するために皆さんが重要と考える施策を、
優先的に進めていきます。

介護を支える

老親の世話・介護の役割の多くを女性が担っているという現状があります。
介護=女性ではなく、社会全体の問題として公的支援の充実や協働化への働きかけが必要であることがわかります。



■皆さんが重要と考える施策

負担がかからない
介護支援施設の充実

69.5

在宅介護における
夫婦の協働化

65.6

0 20 40 60 80 (%)

高齢期を元気に生きる



男女共同参画社会の実現のためには、自らが
高齢者になった時に、経済的自立だけでなく、精
神的・身体的にも自立して生活することが必要と
とらえられていることがうかがえます。

高齢期における
経済的自立を支援

63.6

高齢期の精神的自立を
促す支援

60.3

高齢期に自立的に
生活ができる支援

59.2

0 20 40 60 80 (%)

元気な子どもを生み・育てる

少子化が進んでいます。「命の大切さ」を考えるための学習機
会や子育て支援情報・支援施設の充実などを重要と考える人が
多くなっています。また、母子の健康、
育児相談など子どもを生み・育てる
ことに対する施策も優先的に取り
組んでいくことが期待されています。



「命の大切さ」を考える
ための学習

65.6

子育て支援情報・
支援施設の充実

58.4

母親検診、妊産婦検診等
母性保護対策

57.8

妊娠出産、育児に係わる
相談機会の充実

55.7

0 20 40 60 80 (%)

働きやすい職場環境をつくる

出産や子育てを機に会社を辞める女性や、子育てに参加した
くてもできない男性が多くいます。女性も男性も対等なパート
ナーとして仕事を続けられる職場環境の整備や、男女の雇用条
件等の格差をなくすために企業に働きかけをしていくことが期
待されています。

女性の就業継続のための
企業支援体制

48.5

男女の雇用条件等の
平等性

47.5

男性が育児休暇を
取得できる環境整備

40.3

0 20 40 60 80 (%)

豊田市における男女共同参画推進の拠点施設【豊田女性センター】

事業の一部をご紹介します。

◎クローバーコール【専用電話：33-9680】

豊田市が運営する、悩みや問題をかかえた女性のための電話
相談。専門のカウンセラーが問題解決の支援を行っています。

■開設日/火・木・土 ■時間/10:00~16:00

◎10minジェンダー講座

(FM放送<78.6MHz>：毎週火曜日ラジオラヴィットで放送)
FM放送により家庭・地域・職場における様々な問題をドラマ
仕立てで、わかりやすく解説しています。

◎情報誌「クローバー」の発行

男女共同参画に関する旬の情報や、女性センター主催講座のご
案内など、情報誌を通じてPR活動を展開しています。(毎年2回)

◎あなたとわたしのフォーラム

男女共同参画について広く市民の皆さんに理解していただく
ため、講演会・パネルディスカッションなどを開催しています。

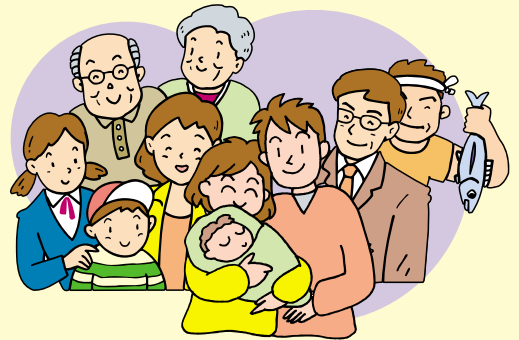
男女共同参画社会の実現に向けて わたしたち一人ひとりにできること

家庭・職場・地域で、男女が対等なパートナーとして喜びや責任を分かち合い、互いに協力して作る社会が男女共同参画社会です。

子育て

- 子育て=母親だと思いませんか？
- 保育園に入れるなんてかわいそう!と思いませんか？
- 地域のおじさん、おばさんとして子どもを見守る目をもっていませんか？

子どもたちは様々な人が関わることによって、たくさんのことを学び、心豊かに育っていきます。
従来からの既成概念にとらわれず、親が責任を持って子どもを生み育て、地域や社会全体ではぐくんでいきましょう。



家庭

- 家事は女性の役目!ときめつけていませんか？
- 話し合ってますか?家中の役割分担。
- 家族みんなで協力して家事分担してますか？

夫婦だけでなく、そうじや洗濯、食事の支度や片付けは、子どもたちも協力し家族みんなで分担することが重要です。
夫婦の話し合いのもとお互いを尊重し、子どもにも性別に関わりなく生活能力を身に付けさせ、自主性や社会性を持たせましょう。

職場

- 性別によって仕事の分担を決めていませんか？
- 男性だけに仕事の責任や残業が偏っていませんか？
- 男性が育児休暇をとるなんて!と思いませんか？

性別ではなく個性や能力により業務が分担され、男女が対等なパートナーとして仕事を進めることが重要です。
家庭や地域活動への理解があり、育児休暇や介護休暇など気兼ねなく取得できる職場環境をめざしましょう。



地域活動

- 地域の役員が男性だけに偏っていませんか？
- 何でも「今までどおり」ですすめていませんか？

地域の一員として、一人ひとりが個性や能力を生かして参画することが重要です。
従来からの慣習にこだわらず、男女が互いに協力し、安心・安全な地域づくりをめざしましょう。

高齢夫婦の生活

- 自立あつての支えあい、自分のことは自分でしてますか？
- 自分の健康管理できてますか？
- パートナーと二人三脚、第二の人生を楽しんでいますか？

お互いに自立し、いたわりあい健康に気遣い、趣味や地域活動に積極的に参画することが重要です。
長年培ってきた経験、知識を次世代に伝承し、地域の一員としていきいきと生活しましょう。



あなたの声をお聞かせください!